

(様式6-2)

研修派遣 精算書

2025年8月27日

三田市議会議長 福田 秀章 様

本会派(私)は、研修派遣(参加)に要した費用の精算結果を下記のとおり報告します。

会派名	市民とともに /	代表者	
		議員名	橋本 維文 /
参加者氏名	橋本 維文		
研修先	大阪市都島区網島町6-20 大阪市学会館309号室 /		
講演会等 研修名	地域公共交通政策セミナー /		
研修事項	自治体における公共交通政策総論など /		
日時	2025年8月22日(金)10時~17時 /		
支払金内訳	科目	支出額	摘要
	参加負担金	20,000	/
	宿泊料		
	日当	/	
	鉄道賃 (モレール)	1,680	840×2(往復)(JR 三田-大阪城北詰間)
	航空賃		
	バス賃		
	船賃		
	タクシー		
	その他		
合計	21,680 /		
備考			

※100 km未満の距離における特急利用、タクシー利用の理由は備考欄に記入
会派支給の場合、会派名、代表者名を記入の上、押印してください。
個人支給の場合、会派名(無会派は記入不要)、議員名を記入の上、押印してください。

(様式6-3)

研修等 報告書

2025年8月27日

三田市議会議員 福田 秀章 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	市民とともに	代表者	
		議員名	橋本 維文
参加者氏名	橋本 維文		
講演会等研修名	地域公共交通政策セミナー		
研修事項	自治体における公共交通政策総論など		
日 時	2025年8月22日(金) 10時~17時		
場 所	大阪市都島区網島町6-20 大阪市学会館309号室		
所 見 (別紙でも可)	別紙の通り		
添付資料	地域公共交通政策セミナー 資料等		

添付書類 (講演会内容のパンフレット等)

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入の上、押印してください。

個人支給の場合、会派名 (無会派は記入不要)、議員名を記入の上、押印してください。

(別紙)

報告者:市民とともに 橋本 維文

8月22日(金)

第1講義「自治体における公共交通政策総論」

講師:一般社団法人グローバル交流推進機構理事長 土井 勉 氏

【講義内容】

- 1 地域と移動(送迎からの自由、潜在需要の顕在化、非排除性(誰でも移動することが可能))
- 2 公共交通の価値・役割(道路・都市・駐車場へのインパクト、渋滞対策、クロスセクター効果)

【所見】公共交通に対して、漠然と抱いていた課題意識が、内包する要素および相関性を理解することで整理され、真の「公共交通」の意味が理解できたように思います。

第2講義「公共交通政策の財政と負担」

講師:神戸大学名誉教授 正司 健一 氏

【講義内容】 公共交通政策の捉え方:採算性と公共性

- 1 (公共)交通サービスのいくつかの特性
- 2 公共交通と採算性
- 3 公共交通と公共性:公的負担

【所見】交通サービスの特性(生産面、需要面)を理解することで、公共サービスとして維持する責任は『公』がとり、事業者に必要なサービス供給を行う義務を課し、そのための補助をおこなうべき、ということが理解できました。

第3講義「公共交通政策の実践」

講師:一般社団法人システム科学研究所常務理事 東 徹 氏

【講義内容】

- ・ 生活圏内の人と施設を交通でつなぐ
- ・ 欧米核都市における都市鉄道の運賃回収率
- ・ 自治体の覚悟、多くの自治体の公共交通政策
- ・ 具体事例から考える公共交通再生への道

【所見】交通事業の目的は「公共交通の維持」ではなく、豊かな社会を維持・創出することであり、事業を継続するための費用は運賃だけではなく、公共交通ネットワーク全体で連携することが必要であり、交通事業だけではなく、まち全体の効果と費用を考える、という視点が必要ということを理解しました。

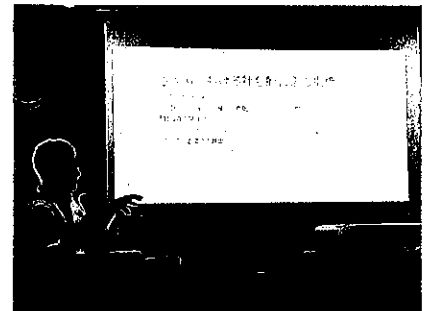
第4講義「路線バスの減便・廃線問題」

講師：竜谷大学教授 井上 学 氏

【講義内容】

- ・ バスが減便・廃止される理由、減便・廃止の影響
- ・ 公共交通の現状
- ・ これまでの公共交通維持に向けた対策
- ・ あるべき公共交通の実現に向けて
- ・ 公共交通の理解を深めるための情報の可視化
- ・ 新たな移動手段導入時の留意点

【所見】バスが減便・廃止される理由を踏まえたうえで、新たな移動手段を考えること、また、あるべき地域の公共交通は、自分の地域ではどのようなコンセプトで実施するかが重要になる、ということについて理解が深まりました。



第5講義「移動に係る不平等・格差の解消に向けて」

講師：近畿大学社会環境工学科准教授 柳原 崇男 氏

【講義内容】

- ・ 移動の格差・不平等について(移動の自由と社会的な権利、移動格差の実態、格差が生じる理由)
- ・ スウェーデンにおける「交通の社会的公正」の考え方

【所見】「なぜ移動の格差が問題か」ということへの理解、公共交通は環境政策であると同時に社会的正義の政策として重要なことを理解しました。

【総合所見】

神姫バスの路線廃止を受けて「公共交通」を考えるようになりました。これまで直接的に「路線廃止に代わる代替交通」について考えていましたが、今回の研修を受け、「公共交通の役割・目的、公共性」「移動の自由と権利・格差解消」「公共交通に対する『公』の役割・位置づけ」の視点で考えていくことが不可欠だと思いました。

地域公共交通には、決まった正解はありません。三田市の実情に合った形を考えていく必要があります。

